



南部町立南部中学校 学校だより 第7号

# チーム南部中

令和元年 7月11日(木)

校長 望月 和彦

## 陸上競技でも「チーム南部中」の力を発揮

6月24日(月)小瀬スポーツ公園の山梨中銀スタジアムにて峡南地区総合体育大会陸上競技の部が開かれました。他の部活動の地区総体が終了した6月10日からの取組で、実質練習できたのは一週間ほどしかありませんでした。授業での体力測定結果をもとに各種目の選手を決め、体育科以外の教員も種目ごとの担当に分かれ、放課後の陸上練習に取り組みました。陸上競技の専門家である四條勉先生も指導に来てくださり、技術面はもちろん大会に向けての心構えまで丁寧に教えていただきました。

当日、競技の前に南部中の待機場所からは、選手たちの歌う全力校歌が聞こえてきました。円陣を組み、全員で胸を張って精一杯校歌を歌う姿から、心を一つにして全力を尽くそうとする熱い気持ちを感じました。朝のうちは小雨も降っていましたが、途中からは天候も回復し、絶好のコンディションの中、本校選手は勝利と自己記録更新をめざして各種目で精一杯競技できたようです。競技している選手はもちろん、それを応援する生徒の姿も立派でしたし、選手をサポートするマネージャー、各種競技の補助員を担当してくれた生徒の動きもすばらしかったです。

結果は、峡南地区9中学校の中で、学年卒なしの共通の総合得点で男子・女子がともに優勝、2年総合でも男子・女子ともに優勝、1年総合は男子2位、女子4位という素晴らしいものでした。昨年度に続き、峡南地区中学校の中で南部中学校の底力を示す結果となりました。

昨年度も今年度も、県で上位の記録を期待できる選手が多数いるわけでもないのに、なぜ総合得点で好結果が得られたのでしょうか。会場で四條先生から「南部中の生徒は、差がつかず競い合っているときに、最後のひと踏ん張りがきく。」という言葉いただきました。たった一週間の陸上練習でそうした力がつくとは思えません。体育の授業や部活動を通して基礎的体力を向上させてきたこと。授業や部活動の中で、まじめにあきらめずに最後まで粘り強く取り組む姿勢を身につけてきたこと。選手が一体となり、チーム南部中として互いに高め合い、励まし合う雰囲気をつくってきたことなど、日常生活での取組の成果が陸上の結果に現れたのではないかと思います。入賞者等の結果は裏面をご覧ください。(上位入賞者には県総体への出場権が与えられます。)



	男子の部	女子の部
共通	総合優勝 100m 8位佐野和 200m 1位渡邊秀喜 400m 6位望月愛翔, 8位國友陽平 800m 4位梶川卓海, 5位諏訪颯斗 1500m 3位梶川卓海, 5位若林航希 3000m 1位渡邊秀喜, 5位小池真ノ介 110mH 1位稲葉一星, 3位近藤聖斗 走高跳 4位國友陽平, 7位成瀬聡貴 走幅跳 6位栗原秀太 砲丸投 5位原田倅成, 6位佐野空人 4×100R 4位南部中	総合優勝 100m 3位望月美月, 6位田中こころ 200m 5位望月美月 800m 4位佐野寧音, 5位遠藤真凜 1500m 3位佐野琴妃, 5位依田紗采 100mH 1位柿島佑海, 3位田中こころ 走高跳 1位旗持愛結, 7位四條桜恵 走幅跳 3位旗持愛結, 8位遠藤真凜 砲丸投 3位望月満風, 7位鈴木風翠 4×100R 5位南部中
2年	総合優勝 100m 4位望月天斗, 6位遠藤快 800m 5位芦川遙也, 7位遠藤快 3000m 8位桐戸捷成 110mH 3位斉藤昂 走高跳 1位五十嵐智春, 3位桐戸捷成 走高跳 4位望月天斗, 6位望月龍馬 砲丸投 2位草場孜温, 4位斉藤昂	総合優勝 100m 3位望月すず, 5位四條花梨 800m 1位小池咲来, 3位佐野あすか 110mH 1位遠藤楓乃, 5位四條花梨 走高跳 1位木内美吹, 4位三澤美尋 走幅跳 6位木内美吹 砲丸投 1位遠藤楓乃, 2位三澤美尋
1年	総合2位 100m 2位一瀬友希, 1500m 6位佐野志穂, 8位佐野昇熙 走幅跳 1位一瀬友希 砲丸投 4位朝夷礼央, 5位前栗藏裕馬 4×100R 2位南部中	総合4位 100m 5位田中亜衣菜 800m 3位望月玲 砲丸投げ 4位岩本奏音, 5位遠藤由稀 4×100R 3位南部中

## 福祉体験学習

1年生は総合的な学習の時間を使って、福祉に関する学習を進めています。その一環として6月14日（金）には、南部町や身延町にある福祉施設を訪問させていただきました。南部町では慈生園、富沢デイサービスセンター、ネオライフとみざわ、身延町ではみのぶ荘、功德会、かじか寮の計6箇所です。生徒たちは4人から12人のグループに分かれてそれぞれの施設に出かけ、職員の方から施設や仕事内容について教えていただいた上で、そこの施設を利用している高齢者や障がいのある方々との交流を行いました。



生徒たちはこの日のために、大型紙芝居、簡単なクイズやゲーム、手話をしながら歌の発表など、利用者の方に喜んでもらえるような出し物を考え、準備してきました。初対面の利用者の方々の前で、最初は緊張して固まっていた生徒もいたようですが、職員の方々のサポートも受けながら次第に笑顔で出し物を発表したり、利用者の方々と会話を楽しんだり、職員の方々のお手伝いをしたりできたようです。半日の体験でしたが、施設を訪問し、そこでサービスを受けている方々や施設で働いている方々と交流することを通して、高齢者や障がいのある方々を支える施設の現状やそこで働いている方々について学び、福祉事業の大切さや自分自身の生き方を考える貴重な機会になりました。

## ぎんこう 吟行

6月27日（木）には1年生が内船のうつぶな公園に吟行（＝俳句を作るために、景色の良い公園や名所・旧跡を訪れること）に出かけました。大雨の予報でしたが、行ってみると傘がいらぬ程度の時々小雨というあじさいを見るには一番良い天気、あじさい祭りも開催されている最中でした。二万株のあじさいが八分咲きといったところでしょうか。青、紫、白、ピンクなどの花が、とても鮮やかに咲き誇っていました。また公園の頂上にある展望台からは、南部中学校の姿も見え、生徒は大いに喜んでいました。「良い句が作れた！」「どの季語を使おうかな？」などさまざまな生徒たちの声がきこえ、俳句作りの楽しさがわかってもらえた気がします。完成した俳句は輝城祭に飾りたいと考えています。お家の方々も是非、お楽しみに。



（文責：村松佳奈）